

科目名	書誌学					単位	2.0
担当教員	服部 仁						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2506

●授業のテーマ  
江戸時代の出版文化

●到達目標  
日本近世文学における書誌学の位置を理解し、書誌カードをとれるようになる。

●学習内容(授業概要)

書誌学には、図書・書物・本などの特定の文字資料を歴史的に詳細に識別・類別して、その資料のもつ意義と位置付けを行うという側面と、図書一般についての研究と、ある一つの版式、形態の説明、さらにある特定の図書のもつ特色を明らかにするという側面をもっている。

この授業では、基本的に、江戸時代の板本書誌学について述べる。江戸時代の出版形態に、現代に通じるものがあるからである。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 書誌学
2. 刊本と写本
3. 外題と内題
4. 柱刻
5. 保存状態
6. 蔵書印
7. 序・跋
8. 表紙模様・色
9. 紙
10. 巻・冊
11. 大きさ
12. 題簽
13. 口絵・挿絵
14. 刊記
15. 広告

●準備学習・事後学習の内容

予習はしっかりして、復習はその日やったことをきちんと整理しておかなければいけない。

●成績評価方法・基準

受講態度 30% レポート・テスト 70%

●テキスト(必携)

書籍名：『日本書誌学を学ぶ人のために』

著者名：廣庭基介・長友千代治

出版社：世界思想社

販売先：生協

●参考文献／その他

『書誌学談義 江戸の板本』中野三敏著 岩波書店

●履修上の注意

特になし。